

2025年度 決算のお知らせ

～特別勘定の現況～

【対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日】



この商品は、2009年3月31日をもって新規のお取扱いを停止させていただいており、一時投入保険料のお払込み（増額）のみのお取扱いとさせていただいております。一時投入保険料のお払込み（増額）をご検討いただく際には、必ず「特に重要なお知らせ」をあわせてご覧ください。

明治安田生命保険相互会社

ご契約の最新情報は

ホームページ

<https://www.meijiyasuda.co.jp/>

お問い合わせは

コミュニケーションセンター



ようこそ ハロー
0120-453-860

- ◆ この保険では、保険料を国内外の株式や債券等に投資する特別勘定で運用し、その運用実績によって積立金額が変動（増減）するため、ご契約者は、経済情勢や運用状況によっては一定の収益を期待できますが、一方で株式その他有価証券の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクも負うことになります。運用実績によってはお受け取りになる返戻金額等が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ◆ 運用実績の評価は、プラスの場合もマイナスの場合も、直接、死亡給付金額、返戻金額および将来の年金受取額等に反映され、すべての投資リスクはご契約者に帰属いたします。
- ◆ 特別勘定における資産運用では、主に以下の投資リスクがあります。

投資リスクの種類	投資リスクの内容
①価格変動リスク	株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、有価証券の市場価格の変動を反映するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
②金利変動リスク	債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、政策金利や市場金利が変動することにより公社債等の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
③為替リスク	外貨建資産に対して投資する特別勘定では、運用資産の評価に使用する為替レートが変動することにより外貨建資産の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。また、為替ヘッジを行なう場合、円とヘッジ対象通貨との金利差相当額のヘッジ・コストがかかります。
④信用リスク	債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの発行体が、経営状況および財政状況の悪化や倒産等の理由により、利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなることがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
⑤流動性リスク	株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、流動性の低い株式や債券を売買する場合、売買を希望する時期に市場実勢から期待される適正な価格や希望する数量で売却できないことがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
⑥カントリーリスク	海外の株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの投資対象国の政治・経済・社会状況の不安定化に伴う金融・証券市場の混乱により、投資対象国の資産価格が大きく変動することがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。

特別勘定の種類と運用方針について

- ◆ 特別勘定の種類と各特別勘定で投資を予定している投資信託は当社が定めます。特別勘定では投資信託のほか、保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有します。
- ◆ 特別勘定の種類と特別勘定の運用方針については、今後変更することがあります。

特別勘定の種類 コード	運用方針	資産運用関係費 (投資信託の信託報酬) (年率) 投資信託委託会社	組入れ投資信託の特色・主な投資リスク
バランス型 (株式20) 0401	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型証券投資信託「三菱UFJ MV20VA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	実質1.06843%程度 (税抜実質0.97%程度) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社※	ファンド・オブ・ファンズ型の投資信託です。国内外の株式または公社債を主要投資対象とする、複数の投資信託証券に投資します。これらの投資信託は様々な運用スタイルをとる世界中の優れた運用会社に分散して運用委託されています。こうして投資対象資産と運用スタイルを分散することにより、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を図ることを目標として運用を行ないます。基準ポートフォリオは右記のとおりです。価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等があります。
バランス型 (株式40) 0402	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型証券投資信託「三菱UFJ MV40VA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	実質1.16303%程度 (税抜実質1.06%程度) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本株式：30% 外国株式（為替ヘッジなし）：10% 日本債券・短期金融資産：30% 外国債券（為替ヘッジあり）：25% 外国債券（為替ヘッジなし）：5%
バランス型 (株式80) 0403	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型証券投資信託「三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	実質1.35223%程度 (税抜実質1.23%程度) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本株式：55% 外国株式（為替ヘッジなし）：25% 日本債券・短期金融資産：10% 外国債券（為替ヘッジあり）：5% 外国債券（為替ヘッジなし）：5%
日本株式型 0405	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	0.385% (税抜0.35%) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本国内の株式に投資し、市場全体の動きをとらえて、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に連動する投資成果を目指して運用を行ないます。日本株式の価格変動リスク等があります。
外国株式型 0407	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 外国株式ファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	0.495% (税抜0.45%) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本を除く世界各国の株式に投資し、ベンチマーク（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果を目指して運用を行ないます。原則として為替ヘッジを行いません。外国株式の価格変動リスク、為替リスク等があります。
日本債券型 0409	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 日本債券ファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	0.275% (税抜0.25%) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本国内の公社債に投資し、ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）に連動する投資成果を目指して運用を行ないます。日本債券の金利変動リスク、信用リスク等があります。
外国債券型 0411	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 外国債券ファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	0.385% (税抜0.35%) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本を除く世界各国の公社債に投資し、ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース））に連動する投資成果を目指して運用を行ないます。原則として為替ヘッジを行いません。外国債券の金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等があります。
マネー型 0412	コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。なお当該特別勘定では、明治安田生命が直接運用します。	資産運用関係費は かかりません —	—

資産運用関係費について

- 資産運用関係費は主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。投資信託の信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して上記の所定の率を乗じたものです。また資産運用関係費には、信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかります。
- バランス型（株式20）、バランス型（株式40）、バランス型（株式80）に組み入れる各投資信託（三菱UFJ MV20VA、三菱UFJ MV40VA、三菱UFJ MV80VA）はファンド・オブ・ファンズ型の投資信託であるため、それ自身の信託報酬（各々、年率0.2805%（税抜0.255%））に加えて、投資対象となる各投資信託においても信託報酬がかかります。上表では両者を合わせた年率を表示しております。
- 公表されるユニット価格は、資産運用関係費および保険契約関係費を控除した後のものです。
- 資産運用関係費については、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

組入れ投資信託の詳細について

- マネー型を除く各特別勘定に組み入れる投資信託の基本的性格、投資方針、投資リスク等については、「特別勘定のしおり」に記載しております。

マネー型について

- マネー型が投資する安全性の高い短期金融資産は一般的に利回りが低いため、保険契約関係費を控除した後の積立金が継続的に減少することがあります。

特別勘定群について

- 一時払変額個人年金保険（災害1割増型）では、複数の特別勘定を含む特別勘定群を設定しています。
- 一時払変額個人年金保険（災害1割増型）の特別勘定群に含まれる特別勘定は前記のとおりです。ご契約の際、および特別勘定部分の積立金の移転の際にご選択いただける特別勘定は、前記の特別勘定および今後当社が本特別勘定群に追加する特別勘定に限ります。
- 当社の変額個人年金保険商品には、本特別勘定群とは異なる特別勘定群を設定した商品などがあります。詳細は明治安田生命コミュニケーションセンターにご照会いただくか、当社ホームページにてご確認ください。

※三菱UFJ国際投信株式会社は2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。

保険契約関係費などの諸費用について

◆ 据置期間中の費用や年金支払期間中の費用などご契約者にご負担いただく費用があります。

1. 年金開始日前の費用

(ア) すべてのご契約者にご負担いただく費用

● 次の費用を控除したうえでユニット価格は計算されます。

項 目	目 的	費 用	時 期
保険契約関係費	死亡給付金・災害死亡給付金のお支払いや、ご契約の締結・維持に必要な費用	特別勘定の資産総額に対して、年率1.450%	特別勘定の資産総額に対して、年率1.450%/365日を毎日控除します
資産運用関係費	特別勘定の運用にかかわる費用です。投資信託の信託報酬や信託事務の諸費用等を含みます	各特別勘定において利用する投資信託により異なります。詳しくは、 特別勘定の種類と運用方針 についてをご覧ください。	投資信託の信託報酬は、各特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、所定の率を乗じた金額を毎日控除します

※資産運用関係費は、主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。また、投資信託の信託報酬の他にも、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金など特別勘定の運用に係る費用等が控除されます。信託報酬以外のこれらの諸経費等については、投資信託委託会社における運用により発生し、その運用方法によって変動することから、費用の発生前にその金額や割合などを確定させることが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、ユニット価格に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

※資産運用関係費は、運用手法の変更や運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

(イ) 特定の場合にご負担いただく費用

● 特別勘定のユニット価格を計算した後に特定のご契約者にご負担いただきます。

項 目	ご負担いただく場合	費 用	時 期
保険契約維持費	月単位の契約応当日の前日に既払込保険料相当額が200万円未満の場合	毎月400円	月単位の契約応当日の前日に積立金から控除します
解約控除	契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から解約日・一部解約日の翌営業日までの経過年数が10年未満の解約または一部解約の場合（契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から10年以上経過後に解約・一部解約する場合には解約控除はありません）	契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）からの経過年数に応じ、既払込保険料相当額に対して6.0%～0.6%の解約控除率を乗じた金額	解約・一部解約時にお支払いする積立金から控除します

2. 年金開始日以後の費用

項 目	費 用	時 期
保険契約関係費	年金年額に対して1.0%*	年金開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します

* 上記の率は、将来変更となる可能性があります。

ご契約者にご負担いただく諸費用の合計額は、上記の「保険契約関係費」と「資産運用関係費」の合計です。
 なお、既払込保険料相当額が200万円未満の場合には「保険契約維持費」、契約日から10年未満の解約・一部解約の場合には「解約控除」がかかります。

1. 市場概況

◆国内債券◆

国内債券市場は、年度を通じて米国の関税政策やインフレ動向に伴い大きく変動しました。年度前半は関税政策への懸念から安全資産需要が高まり金利は低下基調で推移しましたが、年度後半は財政拡張懸念、日銀の利上げ決定（政策金利0.75%へ引き上げ）、原油価格高騰によるインフレ懸念を背景に上昇基調で推移し、10年国債利回りは前年度末差0.864%高い2.354%で引けました。

◆国内株式◆

国内株式市場は、米国の関税政策を巡る懸念と世界的な景気回復期待が交錯し、全体として堅調に推移しました。年度前半は関税政策への不安から下落しましたが、その後は景気回復期待や円安を背景に持ち直し、年度後半は米国の利下げ継続、好調な経済指標、AI関連需要、政権交代期待が重なり史上最高値を更新しました。期末は中東情勢緊迫化や原油高を受けた景気減速懸念から調整が入りましたが、前年度末差15,446円高い51,063円で引けました。

◆外国債券◆

米国債券市場は、年度を通じて景気動向とインフレ懸念の影響を受け変動しました。関税政策による景気減速懸念から低下する場面もありましたが、底堅い労働市場やインフレ懸念から上昇に転じました。年度後半はF R Bの利下げで一時的に低下しましたが、中東情勢緊迫化に伴う原油高や財政懸念から再び上昇し、前年度末差0.111%高い4.317%で引けました。

◆外国株式◆

米国株式市場は、関税政策への懸念から年度前半は一時下落しましたが、その後はF R Bの利下げやAI関連銘柄の好調を背景に回復しました。年度後半は米国経済のソフトランディング期待の高まりから上昇を加速させ、史上最高値を更新しました。期末にかけては中東情勢の緊迫化や景気減速懸念から調整が入りましたが、前年度末差4,340ドル高い46,341ドルで引けました。

◆為替◆

対ドルでは、日米金利差は意識されながらも関税政策による景気減速懸念や米国のインフレ動向に伴い上下し、前年度末差10円36銭円安の159円88銭で終わりました。対ユーロでは、景気減速懸念とE C Bの利下げ見送り、ドイツの財政拡張期待から上下し、前年度末差21円33銭円安の183円41銭で終わりました。

2. 保有契約高（2025年度末）

（単位：件、百万円）

区分	件数	金額
一時払変額個人年金保険（災害1割増型）	11	90

- ・保有契約高には、年金開始後契約等の一般勘定部分を含めています。
- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

3. 特別勘定資産の内訳（2025年度末）

（単位：百万円、%）

区分		投資信託		短期金融資産等		合計	
		金額	比率	金額	比率	金額	比率
0401	バランス型（株式20）	28	99.1	0	0.9	28	100.0
0402	バランス型（株式40）	36	94.4	2	5.6	38	100.0
0403	バランス型（株式80）	108	97.9	2	2.1	110	100.0
0405	日本株式型	88	99.6	0	0.4	88	100.0
0407	外国株式型	249	99.3	1	0.7	250	100.0
0409	日本債券型	0	97.3	0	2.7	0	100.0
0411	外国債券型	31	97.9	0	2.1	32	100.0
0412	マネー型	-	-	0	100.0	0	100.0

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

4. 特別勘定の運用収支

(単位：百万円)

区分	0401 バランス型 (株式20)	0402 バランス型 (株式40)	0403 バランス型 (株式80)	0405 日本株式型	0407 外国株式型	0409 日本債券型	0411 外国債券型	0412 マネー型
利息配当金等収入	-	1	-	-	2	-	0	-
有価証券売却益	-	0	-	-	0	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券評価益	10	19	81	64	211	0	16	-
為替差益	-	-	-	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-	-	-	0	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券評価損	8	16	59	41	166	0	13	-
為替差損	-	-	-	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の費用	-	-	-	-	-	-	-	-
収支差額	1	3	22	22	47	△ 0	3	-

・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

5. 特別勘定の運用実績

各特別勘定の運用実績につきましては、次ページ以降をご参照ください。

特別勘定の運用概況

2026年3月31日現在

バランス型(株式20)

コード:0401

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-3.23%、直近1年で+3.90%、設定来で+26.39%でした。
運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。
組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。
また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2026年3月末	12,638.73329760	直近1カ月	-3.23%
2026年2月末	13,059.93587581	直近3カ月	-1.06%
2026年1月末	12,768.57436931	直近6カ月	+0.23%
2025年12月末	12,774.52980783	直近1年	+3.90%
2025年11月末	12,817.41351498	直近3年	+3.64%
2025年10月末	12,822.83128848	設定来	+26.39%
2025年9月末	12,609.74750942		
2025年8月末	12,537.17104363		
2025年7月末	12,412.15408274		
2025年6月末	12,423.62222829		
2025年5月末	12,321.31669290		
2025年4月末	12,275.28355491		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:三菱UFJ MV20VA(適格機関投資家限定)
設定・運用:三菱UFJアセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2026年3月31日現在

バランス型(株式40)

コード:0402

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-4.53%、直近1年で+8.69%、設定来で+86.53%でした。
運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。
組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。
また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2026年3月末	18,652.64339889	直近1カ月	-4.53%
2026年2月末	19,537.66248479		
2026年1月末	18,852.86687675	直近3カ月	-0.51%
2025年12月末	18,747.77634500		
2025年11月末	18,708.46054566	直近6カ月	+2.68%
2025年10月末	18,588.51203976		
2025年9月末	18,165.14081816	直近1年	+8.69%
2025年8月末	17,961.03692696		
2025年7月末	17,600.85813106	直近3年	+18.14%
2025年6月末	17,465.09833147		
2025年5月末	17,252.43326636	設定来	+86.53%
2025年4月末	16,914.85313073		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ MV40VA(適格機関投資家限定)
設定・運用: 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2026年3月31日現在

バランス型(株式80)

コード:0403

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-4.85%、直近1年で+23.46%、設定来で+285.56%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2026年3月末	38,555.51570502	直近1カ月	-4.85%
2026年2月末	40,521.67044996	直近3カ月	+2.58%
2026年1月末	38,254.47988252		
2025年12月末	37,584.69960744		
2025年11月末	37,109.19405281	直近6カ月	+10.32%
2025年10月末	36,472.82925794		
2025年9月末	34,950.30451140	直近1年	+23.46%
2025年8月末	34,187.87684199		
2025年7月末	32,894.21263833	直近3年	+58.64%
2025年6月末	32,106.63983747		
2025年5月末	31,459.71969027		
2025年4月末	30,000.89977148	設定来	+285.56%

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)
設定・運用: 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2026年3月31日現在

日本株式型

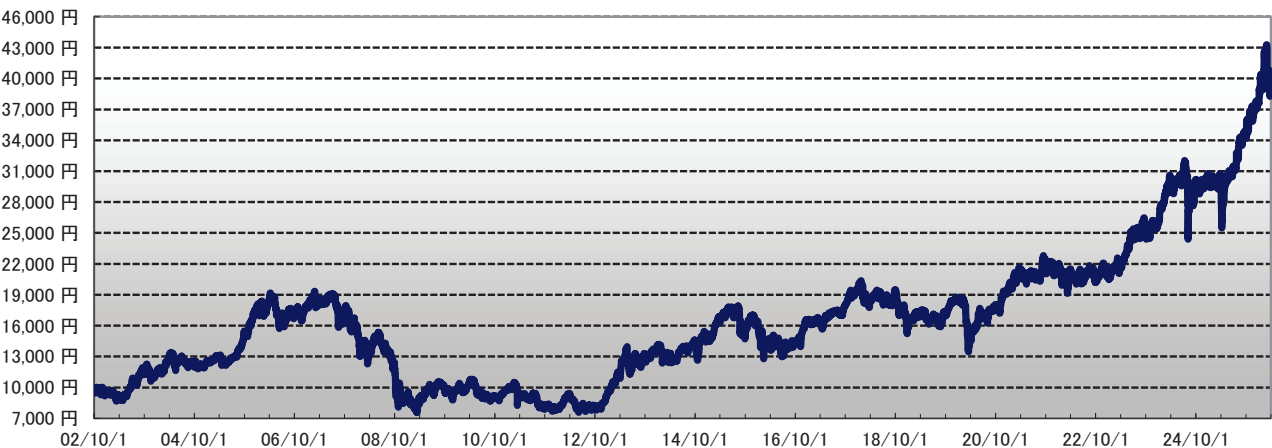
コード:0405

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-10.42%、直近1年で+31.76%、設定来で+287.59%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2026年3月末	38,759.35141566	直近1カ月	-10.42%
2026年2月末	43,268.89027787	直近3カ月	+3.10%
2026年1月末	39,252.36282523	直近6カ月	+11.56%
2025年12月末	37,592.95394502	直近1年	+31.76%
2025年11月末	37,270.36208386	直近3年	+75.45%
2025年10月末	36,810.71152167	設定来	+287.59%
2025年9月末	34,742.43005692		
2025年8月末	33,804.92367359		
2025年7月末	32,420.81016726		
2025年6月末	31,491.49950348		
2025年5月末	30,944.64818032		
2025年4月末	29,524.40228341		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA(適格機関投資家限定)
設定・運用: 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2026年3月31日現在

外国株式型

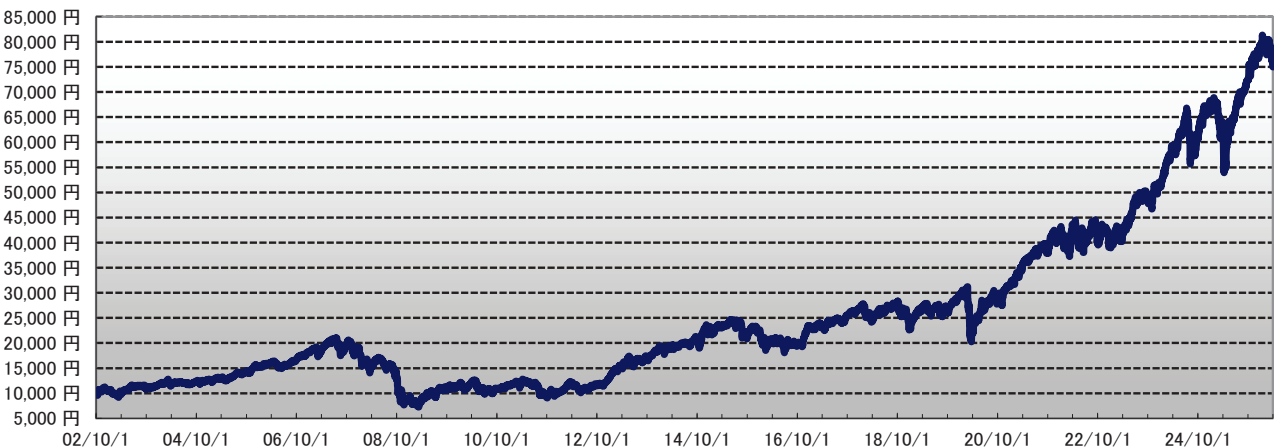
コード:0407

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-6.22%、直近1年で+21.32%、設定来で+649.93%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2026年3月末	74,993.09838684	直近1カ月	-6.22%
2026年2月末	79,963.29190253	直近3カ月	-5.19%
2026年1月末	78,906.71686570	直近6カ月	+3.38%
2025年12月末	79,096.71134493	直近1年	+21.32%
2025年11月末	77,682.13039442	直近3年	+77.75%
2025年10月末	76,586.87905776	設定来	+649.93%
2025年9月末	72,539.89814858		
2025年8月末	70,114.52616461		
2025年7月末	69,661.59829437		
2025年6月末	66,135.61261704		
2025年5月末	63,253.62974808		
2025年4月末	59,133.80673563		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ 外国株式ファンドVA(適格機関投資家限定)
設定・運用: 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2026年3月31日現在

日本債券型

コード:0409

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-1.92%、直近1年で-6.81%、設定来で-24.23%でした。
運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。
組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。
また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2026年3月末	7,577.00704318	直近1カ月	-1.92%
2026年2月末	7,725.19309681		
2026年1月末	7,629.53425356	直近3カ月	-2.06%
2025年12月末	7,736.57877630		
2025年11月末	7,841.72887505	直近6カ月	-4.56%
2025年10月末	7,940.29632886		
2025年9月末	7,939.31084567	直近1年	-6.81%
2025年8月末	7,955.61437327		
2025年7月末	7,991.16831021	直近3年	-15.76%
2025年6月末	8,081.95714434		
2025年5月末	8,051.62722504	設定来	-24.23%
2025年4月末	8,164.05841798		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ 日本債券ファンドVA(適格機関投資家限定)
設定・運用: 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2026年3月31日現在

外国債券型

コード:0411

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.74%、直近1年で+10.45%、設定来で+76.14%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2026年3月末	17,613.82393780	直近1カ月	-0.74%
2026年2月末	17,746.01065897	直近3カ月	+0.33%
2026年1月末	17,376.86078312	直近6カ月	+6.36%
2025年12月末	17,555.48331540	直近1年	+10.45%
2025年11月末	17,500.13336049	直近3年	+24.48%
2025年10月末	17,166.49153997	設定来	+76.14%
2025年9月末	16,560.67859213		
2025年8月末	16,274.25051399		
2025年7月末	16,339.43341326		
2025年6月末	16,072.89499511		
2025年5月末	15,715.15591002		
2025年4月末	15,649.46415144		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ 外国債券ファンドVA(適格機関投資家限定)
設定・運用: 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2026年3月31日現在

マネー型

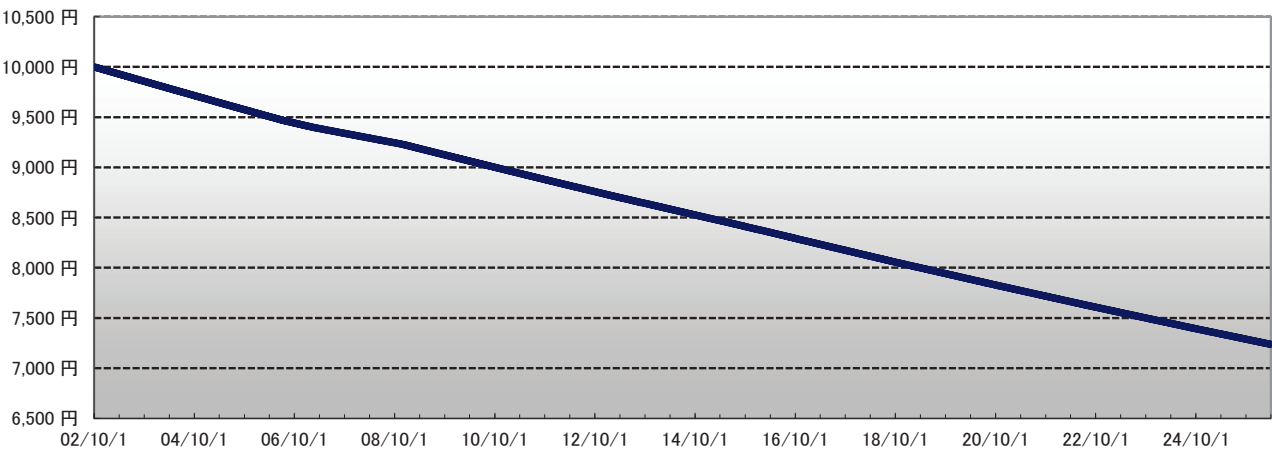
コード:0412

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.12%、直近1年で-1.42%、設定来で-27.63%でした。
運用方針に従い、コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2026年3月末	7,236.97477349	直近1カ月	-0.12%
2026年2月末	7,245.80111412	直近3カ月	-0.35%
2026年1月末	7,253.77329276	直近6カ月	-0.71%
2025年12月末	7,262.59963340	直近1年	-1.42%
2025年11月末	7,271.42597404	直近3年	-4.20%
2025年10月末	7,279.96759401	設定来	-27.63%
2025年9月末	7,288.79393464		
2025年8月末	7,297.33555461		
2025年7月末	7,306.16189525		
2025年6月末	7,314.98823589		
2025年5月末	7,323.52985586		
2025年4月末	7,332.35619650		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

お問い合わせ、ご照会は

募集代理店

引受保険会社

明治安田生命保険相互会社

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

電話 03(3283)8111〔代表〕

ホームページ <https://www.meijiyasuda.co.jp/>